

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第27週の発生動向

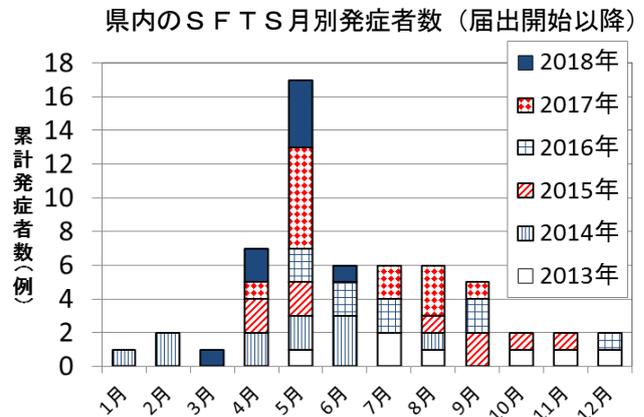
トピックス

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

(全数報告の感染症)の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は90歳代男性で、発症は6月下旬である。ダニの刺し口は確認出来なかった。県内での報告は今年8例目で、累計57例(平成25年3月届出開始以降)となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	14	20	14	5



全数報告の感染症 (27週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。5類感染症：百日咳6例。

疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類 結核	宮崎市	80歳代	女	結核性胸膜炎、結核性リンパ節炎	体重減少
		80歳代	女	肺結核	発熱
	都城	60歳代	女	無症状病原体保有者	—
3類 腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	20歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、O26(VT1産生)
4類 重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	90歳代	男	—	発熱、下痢、血小板減少、リンパ節腫脹
5類 百日咳	延岡	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、スタックート、ウーブ
	日南	5~9歳	女	—	持続する咳、スタックート、ウーブ
		5~9歳	男	—	夜間の咳き込み
		10歳代	男	—	夜間の咳き込み
	高鍋	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ
中央	5~9歳	女	—	持続する咳	

定点把握の対象となる5類感染症

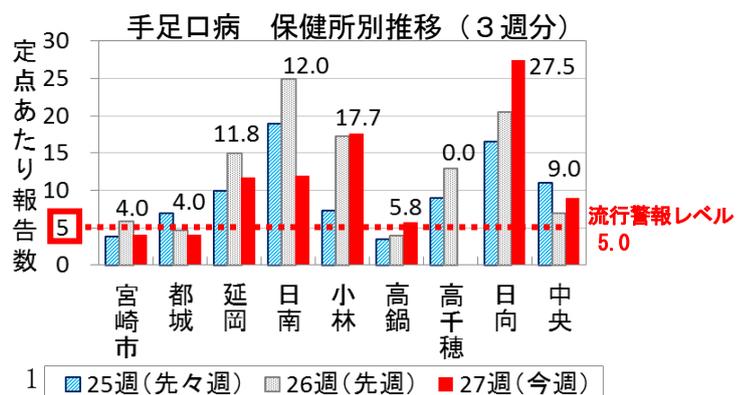
・定点医療機関からの報告総数は868人(定点当たり26.6)で、前週比81%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は水痘で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎である。RSウイルス感染症は例年より多い状況が続いている。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

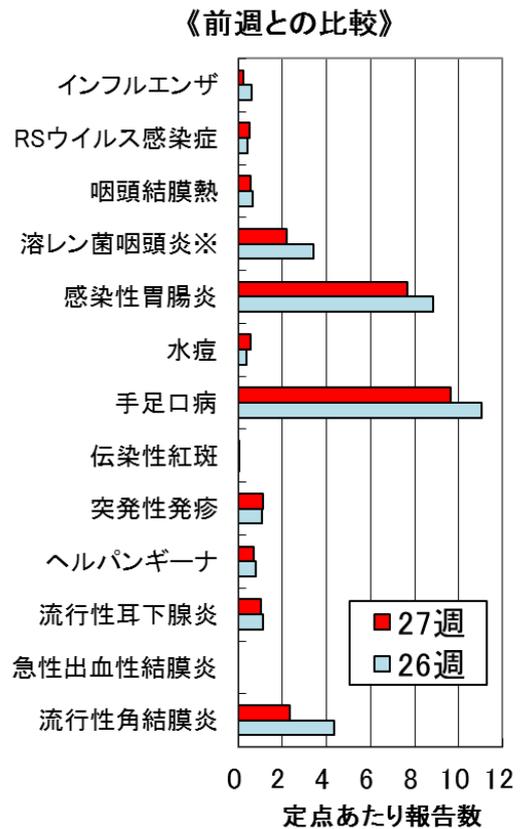
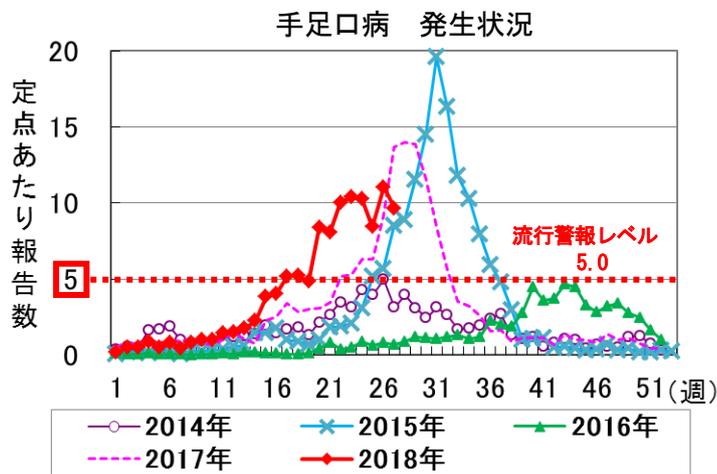
【手足口病】

報告数は338人(9.7)で、前週比88%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(6.1)の約1.6倍である。日向(27.5)、小林(17.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヶ月~4歳が全体の約9割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



1 ■ 25週(先々週) ■ 26週(先週) ■ 27週(今週)



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	手足口病(11.8)
日南	手足口病(12.0)、流行性耳下腺炎(11.0)
小林	手足口病(17.7)
高鍋	手足口病(5.8)
高千穂	なし
日向	手足口病(27.5)
中央	手足口病(9.0)

※ 流行警報レベル開始基準値*

- ・手足口病(5.0)
- ・流行性耳下腺炎(6.0)

全国 2018 年第 26 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 26 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	368 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	69 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	19 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	1 例	日本紅斑熱	12 例
5類感染症	レジオネラ症	53 例	レプトスピラ症	1 例		
	アメーバ赤痢	17 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例
	急性脳炎	6 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	15 例	ジアルジア症	1 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2 例	侵襲性肺炎球菌感染症	27 例	水痘(入院例)	7 例
	梅毒	98 例	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	3 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	188 例	風しん	3 例
	麻しん	6 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 102%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎である。RSウイルス感染症、流行性角結膜炎は例年より多い状況が続いている。

ヘルパンギーナの報告数は 3,161 人(1.0)で前週比 156%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約 0.6 倍である。新潟県(7.1)、佐賀県(6.7)からの報告が多く、年齢群別では1~4歳が全体の約 8 割を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2018年 第27週(07月02日～07月08日)

疾病名		第26週	第27週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	35	14		13	1						
	定点あたり	0.60	0.24	0.00	1.30	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	14	17	7	1	4			1		3	1
	定点あたり	0.40	0.49	0.78	0.17	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.75	1.00
咽頭結膜熱	報告数	23	20	5	6	2	1	1	3		1	1
	定点あたり	0.66	0.57	0.56	1.00	0.50	0.33	0.33	0.75	0.00	0.25	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	119	77	18	10	25	10	3	4		3	4
	定点あたり	3.40	2.20	2.00	1.67	6.25	3.33	1.00	1.00	0.00	0.75	4.00
感染性胃腸炎	報告数	309	268	31	40	21	37	57	21	4	42	15
	定点あたり	8.83	7.66	3.44	6.67	5.25	12.33	19.00	5.25	4.00	10.50	15.00
水痘	報告数	13	20	5	1	2	2	2	6	1	1	
	定点あたり	0.37	0.57	0.56	0.17	0.50	0.67	0.67	1.50	1.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	386	338	36	24	47	36	53	23		110	9
	定点あたり	11.03	9.66	4.00	4.00	11.75	12.00	17.67	5.75	0.00	27.50	9.00
伝染性紅斑	報告数	1	2						1	1		
	定点あたり	0.03	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	37	39	10	8	7	2	1	6	1	2	2
	定点あたり	1.06	1.11	1.11	1.33	1.75	0.67	0.33	1.50	1.00	0.50	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	28	24	2	4	5	2	5	4		2	
	定点あたり	0.80	0.69	0.22	0.67	1.25	0.67	1.67	1.00	0.00	0.50	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	39	35		1	1	33					
	定点あたり	1.11	1.00	0.00	0.17	0.25	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	26	14	13		1						
	定点あたり	4.33	2.33	4.33	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～27週)

2類感染症	結核	90例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	9例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	8例(1)
	つつが虫病	1例	日本紅斑熱	5例	レジオネラ症	4例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	7例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	1例	播種性クリプトコックス症	3例
	破傷風	2例	百日咳	180例(6)	風しん	1例

()内は今週届出分、再掲